KO PROPO®

MINI-Z Racer MR-03 セッティングカード
取扱説明書

当説明書は、製品の取り扱い方法・注意事項と、当社製品「マルチセッティングアダプター」の設定画面操作について示しています。マルチセッティングアダプター本体の取扱説明書とあわせてお読みのうえ、製品を正しくお使いください。そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

対応機種

- MR-03
- ASF MINI-Z 2.4GHz
- d-nano

※
このセッティングカードは、2.4GHz の MINI-Z 及び d-nano に対応します。そのため各シャーシ毎に使用できる設定範囲が異なります。使用範囲を超えても突然壊れることはありませんが、操縦に影響しますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

この製品は、内部に電子部品を使用する精密機器です。誤った使用や保管方法は、製品の故障および事故につながる危険がありますので、必ずお守りいただくことを、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	死亡または、重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。	■本体の改造・分解を行わない。※火災、感電、故障につながります。修理や内部の点検は、当社サービス部にて行います。 ■この製品は、別売のマルチセッティングアダプターと組み合わせることで、MR-03、ASF MINI-Z 2.4GHzおよびd-nanoの設定を外部から行うためのものです。それ以外への使用はできませんので、ご注意ください。※規定以外の目的に使用した場合、故障を含む損害が発生することがあります。
⚠ 警告	死亡または、重傷を負う可能性が想定され、高い頻度で物損事故が発生する内容です。	■煙が出ている、異常に熱い、におい・音がする時などは、使用をやめて直ちにマルチセッティングアダプター本体の電池を外す。水濡れや、熱、薬品、溶剤などによるケースの変形が発生した場合は、使用を中止する。
⚠ 注意	障害を負う可能性または、物損事故のみが発生することが想定される内容です。	■端子部に外部から異物を差し込まない。※異物により破損すると使用時に発火、発熱による負傷、物損の危険があります。 ■高温になるところに放置しない。※高温（約60℃以上）になった場合、熱によるケースの変形が発生し、使用できなくなる場合があります。 ■本体は、プラスチック製のケースですので、落下による衝撃、または溶剤などの化学物質により変形、破損が発生しますのでお取り扱いには充分にご注意ください。

ラジコン模型の性質上、お客様が当製品を使用されました結果につきましては弊社では責任を負いかねる事があります。あらかじめご了承下さい。

セッティングカードのセット

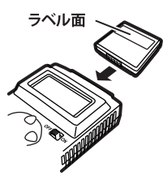
セッティングカードは、マルチセッティングアダプター上部の通信コネクターに差し込んで使用します。

❶ マルチセッティングアダプターの電源スイッチが OFF になっていることを確認します。

❷ 右図で向きを確認の上、奥までしっかり差し込みます。

❸ 正しく接続できたことを確認するために、マルチセッティングアダプターの電源スイッチを一旦 ON にしてください。初期表示が画面に出れば接続完了です。

❶ 電源オフ



❷ 向きを確認してしっかり差し込む

❸ 電源をオンにして初期表示を確認

画面の初期表示

注意

■セッティングカードを逆に差し込んで無理に押さないよう、ご注意ください。
※セッティングカード本体や通信コネクターが破損する場合があります。
■セッティングカードおよび機器の接続・取り外しは、必ず MR-03、ASF MINI-Z 2.4GHz または d-nano とマルチセッティングアダプターの各電源を OFF にした状態で行ってください。故障の原因になります。

設定前に必要な機器の接続（MR-03の場合）

❶ 電池をセットした MR-03 とセッティングアダプターを用意し、電源スイッチが OFF になっていることを確認します。

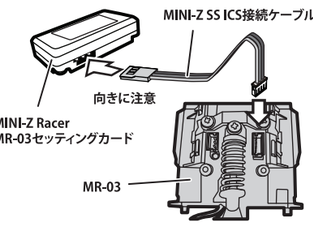
❷ MINI-Z SS ICS 接続ケーブルを使用してマルチセッティングアダプターと MR-03 を接続します。

❸ マルチセッティングアダプターの電源スイッチを ON にします。

❹ MR-03 のペアリングボタンを押しながら、電源スイッチを ON にします。順序を間違えて操作するとデータの送受信ができません。MR-03 の LED ランプが一度消え、すぐに全点灯していることを確認してください。点灯している状態が通信可能な状態を示しています。LED インジケーターランプの位置については、MR-03 の取扱説明書を御覧下さい。

❺ 次ページのフローチャートを参考に、データ送受信画面で**◀ボタン**（RX-）を押し、画面に「**OK**」と表示されることを確認してください。「**NG**」と表示される場合は、最初からやり直してください。

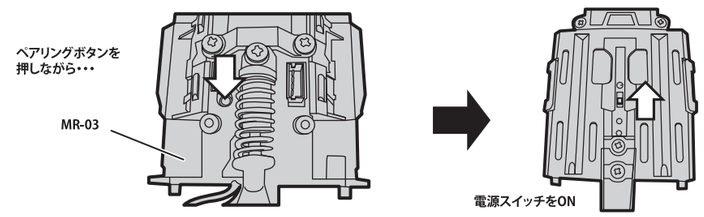
❷



注意

■MINI-Z SS ICS ケーブル両端のコネクターを逆に差し込んで無理に押さないよう、ご注意ください。
※コネクターや機器が破損する場合があります。

❹



設定の変更（MR-03の場合）

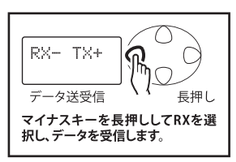
読み込みの手順（MR-03）

まずミニッツから設定データを読み込んで（受信）、マルチセッティングアダプターの画面に表示を行います。設定項目を変更した後は、MR-03 に設定データを書き込むと（送信）、マルチセッティングアダプターで変更した設定が有効になります。

❶ 接続
電源を全てOFFにする。セッティングカードをマルチセッティングアダプターにセットしてMR-03と接続ケーブルで接続します。

❷ 電源スイッチON
１ページを参考に、マルチセッティングアダプターのスイッチ、ミニッツのスイッチをボタンを押しながら入れます。

❸ 受信
設定項目画面を切り替え、データ送受信にします。



マイナスキーを長押しでRXを選択し、データを受信します。

受信完了後、各設定項目はMR-03に現在設定されている値を表示します。
※このとき表示しているデータは、セッティングアダプターの電源を切ると消去されます。 表示されているデータを保存したい場合は、セッティングカードに内蔵されているデータメモリにセーブしてください。（詳しい手順は以下の『データのセーブ』をご参照ください）

UPキー・DOWNキーで設定項目の画面を選び、プラスキー・マイナスキーで設定値をカスタマイズします。

書き込みの手順

※変更した設定の内容は、MR-03 に送信しないと有効になりません。

❶ データの表示
接続（読み込みの手順①参照）された状態で、送信したいデータを画面に表示します。

❷ 送信
設定項目画面を切り替え、データ送受信にします。

設定項目

※このセッティングカードは、2.4GHz の MINI-Z 及び d-nano に対応します。そのため各シャーシ毎に使用できる設定範囲が異なります。使用範囲を超えても突然壊れることはありませんが、操縦に影響しますのでご注意ください。

各パラメーターの名称と働き

①設定データのメモリ番号
セッティングカードにセッティングデータをロード・セーブする、メモリの番号を指定します。メモリは１～８まで、８種類保存することが出来ます。

②メモリのロード・セーブ
セッティングカードからセッティングデータをロード（LD-）したりセーブ（TX+）します。ロードにはマイナスキー長押し、セーブはプラスキーの長押しをします。

③データの受信・送信
ミニッツのセッティングをセッティングカードに受信（RX-）したり、セッティングカードに表示されているセッティング内容をミニッツに送信（TX+）します。受信にはマイナスキー長押し、送信にはプラスキー長押しをします。

④ゲイン（＃GAIN）
ステアリングサーボの保持特性を切り替えます。＋/ーキーで Min,Mid,Strong の３段階に調整でき、Strong が最も強い保持特性となります。保持特性とは…外部からの力が加わったときの、現在のサーボの位置を保持しようとする力です。

⑤スピード（＃SPEED）
ステアリングサーボの動作スピードを変化させます。＋/ーキーで Slow,2,3,4,Fast の５段階に調整でき、Fast が最も速い動作スピードとなります。

⑥パンチ（＃PUNCH）
ステアリングサーボの動き始めの反応速度を変化させます。＋/ーキーで 1(Low) から 10(High) までの１０段階の設定が可能です。設定値が小さい場合は、サーボの動きはアナログサーボに近い動きになります。ミニッツを運転したときに、ステアリングの反応が俊敏すぎてコントロールが難しい場合に設定を下げると良いでしょう。

⑦デッドバンド（＃D BAND）
ステアリングサーボが外力に反応しない幅の設定です。＋/ーキーで Narrow,Mid,Wide の 3 段階に設定が可能です。

⑧ダンピング（#DUMP）
ステアリングサーボが止まるときの特性を切り替えることが出来ます。＋/ーキーで Smooth,Over から選択します。Smooth の場合、目的位置の手前からブレーキを掛ける特性、Over の場合には、目的位置でブレーキを掛けるのでハンドルは少し行き過ぎてから戻るような動きになります。

⑨モーターのドライブ周波数（＃DRIVFREQ）
スロットルのモータードライブ周波数を切り替えます。＋/ーキーで Low,Mid,Wide の 3 段階から選択が可能で、ミニッツの場合（1.2/2.5/5.0KHz）に、d-nano の場合（1.1/2.3/4.8KHz）になります。一般的に、Low はトルクを増しますが燃費は悪くなり、High に設定すると高効率、低燃費となります。

⑩ニュートラル幅（＃NUTWIDE）
スロットルトリガーのニュートラル領域の幅を調整できます。＋/ーキーで Narrow,Mid,Wide の 3 段階で設定できます。

⑪イナーシャ（＃INARTIA）
走行中にスロットルをオフにした際の余分に進む慣性（惰性）を調整できます。Strong,2,3,4,OFF の５段階で調整でき、Strong が最も転がり、ＯＦＦで制御無しになります。

⑫バックタイマー（#BAKTIME）
前進からブレーキに切り替える際に必要な、ニュートラル状態の待ち時間の調整値です。1~5 までの５段階に調整でき、値が大きいほど必要なニュートラル状態の時間が長くなり、よりポンピングブレーキが使いやすくなります。

⑬ステアリングジャイロゲイン（＃ST.GAIN）
MR-03、d-nano などのジャイロユニットのステアリングへの利き具合を調整します。＋/ーキーで、1 から 255 まで細かく設定が可能です。255 がもっともジャイロの効果を得ることが出来ます。ジャイロユニット非対応の ASF シリーズには無効となります。

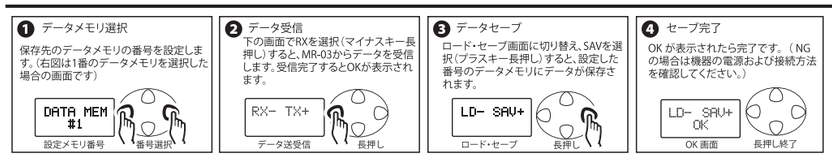
⑭スロットルジャイロゲイン（＃TH.GAIN）
MR-03、d-nano などのジャイロユニットのスロットルへの利き具合を調整します。＋/ーキーで、1 から 255 まで細かく設定が可能です。255 がもっともジャイロの効果を得ることが出来ます。ジャイロユニット非対応の ASF シリーズには無効となります。

●MR-03 セッティングのポイント

④ゲインについて
MR-03 シャーシで Strong にセッティングすると、ステアリングサーボがハンチング（ニュートラルでも勝手に動作する）現象を起こすことがあります。
⑦デッドバンドについて
ハンチングの現象が激しい場合、Mid・Wide にセットすると症状が緩和します。
⑬・⑭各ジャイロゲインについて
京商株式会社販売の「MZW405 MR-03 ジャイロユニットセット」を装着した時のみ有効です。

データのセーブ

カスタマイズした設定は送信する前にセーブを行いバックアップをとっておくと、後のセッティングに役立ちます。



データのロード

データメモリから設定を読み込んでMR-03、d-nano等に送信します。

お問い合わせ

近藤科学株式会社 サービス部
〒116-0014
東京都荒川区東日暮里4-17-7
サービス部直通
Phone:03-3807-7648
受付時間：月曜日～金曜日（祝祭日を除く）
9:00～12:00、13:00～17:00
http://www.kopropo.co.jp

© KONDO KAGAKU CO.,LTD. 2009

京商、MINI-Z、その他商品名は、
京商株式会社の商標または登録商標です。